

6月19日(木)、広島サンプラザにて「体育祭」が行われました。平日開催でしたが、1,111名の保護者のみなさまが応援に駆けつけてくださいました。ありがとうございました。

本校施設の関係で、全校生徒900人が一堂に会するのは年に一度、この体育祭のときだけです。生徒も教職員も、そして、保護者のみなさまも「ひろしま協創中高」の一体感を感じることが出来る機会なのです。また、各学年の競技を通じて、中学生から高校生までの6年間を見通しながら、生徒の成長の軌跡を感じ取れるときでもあるのです。

それゆえ、競技は勿論のこと、応援する姿に至るまで、生徒の一瞬一瞬の動きから目を離すことができません。いくつかの場面を紹介いたします。(加えて、先生たちの姿も)。

輝き放つ、生徒たち

◇集団競技には必須の光景です。女子騎馬戦に出場した高校3年生が仲間と共に勝利を目指して気合を入れます。「がんばるぞ!」「オー!」「絶対勝つぞ!」「オー!」。自然と発生した? リーダーが先導したのですが、本部席からは誰がリーダー役なのか確認することができませんでした。円陣を組み躊躇なく声を発するのですから、素晴らしいチームワークとしか言いようがありません。結果は、残念ながら1位を逃しました。

◇競技をしている側からすると、仲間の応援は最大の後押しとなります。応援席に注視してみるとこのような光景はどの学年の席でも見ることができます。体育祭が終了すると、声をからす生徒もいます。必死になって仲間に声援を送った証拠です。我がクラスの代表に想いを託し、自分たちの勝利を信じて声を張り上げるのです。写真は高校2年生。良く頑張りましたが、「応援賞」を獲った高校3年生には今一步届きませんでした。

◇体育祭の花形競技はクラス対抗リレー。中学校は予選なしの一発決勝レース。6クラスで争われました。初参加の中学1年生、実は怖いもの知らず? 1・2位は中学3年生でしたが、1年A学級が、何と3位に入賞したのです。喜びが一気に爆発した様子です。「おお、やったなあ!」「すごいじゃん!」「嬉しい!」という声が聞こえてきそうです。仲間とのこういった経験を積みながら、「協創する力」を身につけていくのでしょうか。

◇最後に、教職員の「椅子取りゲーム」を持ってきました。午前の部、最後の競技です。先生も生徒も非常に盛り上がる種目です。生徒の歓声を受けて先生たちは張り切ります。そして、精一杯の姿を見本として生徒に示しています…。

体育祭等の行事を通じて生徒の自主性が磨かれ、「自立から自走へ」向かう。それが願いです。

